



民児協 ぬくもり

No.13

【発行日】
平成31年2月21日

【発行】
笠間市連合民生委員
児童委員協議会

【編集】
広報委員会

民児協とは、民生委員・児童委員協議会の略称です。



愛宕山の桜

中林春男氏 撮影

スローガン

支えあう 住みよい社会 地域から



地域の福祉力
笠間市連合民児協
会長 鈴木 守正

平成三十一年四月末日は、「平成」最後の日です。この三十年を振り返ってみると、阪神・淡路大震災、東日本大震災等を始め、今でも全国各地で発生している地震災害の多さです。しかしながら、これらの災害を契機にボランティアの活躍が周知され、拡大していったことは民生委員・児童委員のひとりとして心を動かされました。

変えることもあり、地域の方々が抱える課題が大変見えにくくなってきております。その結果、ひとり暮らしの高齢者や障害者、貧困状態にある子どもやその家庭等で「社会的孤立」の人々に必要な支援が届きにくい状況となっております。地域の福祉力を高めることが重要です。皆さま方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

訪問活動から

「こんにちは、おばあちゃん元気」「おや、誰かと思ったら〇〇民生委員さんかい。そろそろ来る頃だと思っていたよ。ごくろうさん」大正生まれの一人暮らしのおばあさん宅への訪問は、決まってこのあいさつから始まります。そして、いつものように、一人暮らしになってからの苦労話や、体調などをしっかり聞く時間を取るようにしています。時間はかかりますが、話し終えたときの笑顔と、「また来てね」の言葉が、訪問して良かったなと思わせてくれます。担当の地区では、一人暮らしの高齢者や、高齢者だけの世帯が毎年増加しています。さらに、委員に

なった当初はなかった生活保護世帯も少しずつ出てきました。このようなか中で、良い人間関係を作ることが出来るように、月一回の訪問を心がけています。「大変だね。ごくろうさん」という言葉を聞くと、少しは役に立っているのかなと思ったりもしています。

今後、自分の出来る範囲で活動していけたらと考えています。

小さなネットワークを大切に

日々活動していると、要支援者との様々なかかわりが出てきます。そこで学んだことは、要支援者を支援するための、近隣ネットワーク作りが肝心であると感じています。要支援者からの相談には、自立を促し、自助が図れることを目指して①緊急に備えた親族との連携(自助)②ご近所や、地域との連携(共助)③福祉のしおりを活用、制度の理解促進(公助)を進め、要支援者・親族・協力者との連携を目指し、活動をしています。その必要性は、アクシデント発生時は、他人が立ち入れないことが多いため、親族の対応が必須です。



猪 製作者 堤徳郎民生・児童委員

活動から そばで…

日頃の あなたの

恩返し

昨年八月に山口県で二歳児が行方不明となる事件があり、捜索後直ぐに発見して話題となったスーパーボランティア尾畠春夫さん。その方の好きな言葉として「かけた情けは水に流せ。受けた恩は石に刻め。」という言葉があり、共感を受けました。約5年前、民生委員を引き受けるに当たり非常に悩みました。しかし、最終的にこの地域に少しでも恩返ししなければとの思いから、引き受けました。民生委員として地域を回ってみると、見守り対象者となっている高齢者が、まさしく私が子供時代

に地域で中心的に活躍され、地域のために尽力されてきた方々なんだと実感しました。当時受けた恩、今はひとつひとつ思い出しながら石に刻みつつ恩返しの旅を続け、寄り添い話し相手となりながら手助けできればと思います。皆さんが笑顔で迎え入れてくれ、民生委員を引き受けてよかったですと実感しています。

近年、かつて経験したことのない大災害・異常気象が頻繁に起こっています。私たち民生委員の重要性・必要性

情報を共有して

が増しているのではないかと思います。社会的弱者が孤立化することのないよう努力していきます。

下安居は旧岩間地区の東部にあり、県道茨城岩間線(川根街道)と石岡城里線(石塚街道)の交叉点に位置し、天台宗妙行院や「灯籠念仏」の千日堂の文化財がある地域です。岩間工業団地も近くにあり人口増が見込まれます。

当下安居では、東日本大震災以降「地区情報交換会」を実施しています。メンバーは区長、副区長、地区社協運営委員長及び民生委員・児童委員で打ち合わせを実施しています。



打ち合わせ会は毎年3〜4回開催し、「一人暮らし高齢者世帯」「障がい等要支援者」等の情報を共有し、平時の対応や災害時には安否確認や救護活動に役立つようにしています。この打ち合わせにより、世帯状況の把握と常に地区全体の把握が可能です。今後も継続して実施していきます。

あいさつ



笠間市長 山口 伸樹

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から社会福祉の増進にご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨今、地域の福祉課題は複雑化・多様化しております。社会的弱者に対する支援は一層求められ、地域ぐるみで住みなれた地域社会を守り高めていくことが大切な時代となっております。

そこで、市では平成三十年四月に、地域の健康づくり・医療・介護の拠点となる「医療・保健・

福祉」の機能を併せ持った「地域医療センターかさま」を開設いたしました。

今後、施設を拠点として、地域医療・福祉対策に積極的に取り組み、躍進する笠間市を目指してまいりますので、委員の皆様には、引き続きお力添えをお願い申し上げますと共に、健康に留意され活躍される事をご祈念申し上げます。

児童虐待の現状について

9月5日、中央児童相談所より講師を招き「児童虐待」について講話をいただきました。

児童虐待は年々増加し、種類としては心理的虐待が多くなっているようです。また、主な虐待者は実父母で、近年は実父の割合が多くなっていること

や被害児童は0歳から就学前の乳幼児が4割以上を占めていることも分かりました。一時保護後は家庭引取が全体の半分以上を占めていることも理解しました。

笠間市連合主任児童委員会では、「子ども虐待防止オレんじリボン運動」を実施しています。作成したオレんじリボンを公共機関や街頭で配布し、児童虐待防止の意識の高揚を図っています。この活動が児童虐待の早期発見・早期対応に繋がることを願いながら...



児童虐待の講習風景

当委員会では6月に社会福祉課の担当者を招き、笠間市に於ける生活保護の現状について勉強会を開きました。

受給世帯が全国的に増加傾向にある中、笠間市では7名のケースワーカーを中心に対応されているとの話が冒頭にありまし

委員には担当地区内での生活弱者への生活状況の把握と相談助言の役割、必要に応じて見守り・支援が求められるとのことでした。

また、7月にフジテレビで放映された新人ケースワーカーの奮闘記を視聴する機会があり、「健康で文化的な最低限度の生活」について、ドラマ仕立てではあったものの、研修会等とは別視点からの勉強の機会となりました。

生活保護の現状について

委員会

事項別委員会の研修や活動を紹介

だより

7月18日、那珂市の「ナザレ園」を視察しました。広い敷地で、自然豊かな所です。敷地内には、福祉関係の施設・センター等がすべてまとめられているます。

老人施設では、視覚・聴覚障がいのある老人専用のホームもあります。

救護施設は、主に身体障がい者や精神障がい者の18才以上の90名が入所しています。多くの野菜作りなど農作業に取り組み、社会復帰に向けて生活訓練・自立訓練をがんばっています。

薪が山積み小屋がありましたが、この薪は、各施設の風呂用と焼芋などの蒸し釜に使うために、障がい者の人たちが、廃材から用意しています。

この度の研修により、各地区との交流ができ、得た知識を今後の地域活動に活かして参りたいと思います。



ナザレ園での研修風景

9月13日、常陸大宮市にある養護老人ホーム「スプレールみのり」を見学しました。元の中学校の跡地を利用して建てられた施設なので環境的に恵まれた所でした。

養護老人ホームは、介護が必要でなく、いずれは社会に戻らなければならぬ高齢者のための施設であり、経済的な理由や心身の状態で行政による入所許可（措置）が必要であること、最近では措置を滞る行政もあり、定員割れをしていること、職員の人材確保が難しいことなどの説明がありました。

民生委員・児童委員としては、高齢者が楽しいはずの老後が無駄にしないためにも、より一層地域福祉に目を向け、日常生活全般に気を配り、見守り活動をしていかねばと強く感じました。

ナザレ園を視察して

養護老人ホームを視察して

ウォーキングで健康寿命をのばそう!
笠間市が健康ポイント事業を導入

ウォーキングで健康づくり

かさま健康ポイント

実施期間 平成30年7月2日～平成31年3月29日

STEP01 スマホを持って
STEP02 ウォーキング
STEP03 健康ポイント管理
STEP04 健康づくり

健康ポイントに交換して利用

人生100年時代に突入したといわれています。とはいえ、平均寿命と健康寿命は10年以上の差があります。健康で自立した日常生活ができる健康寿命を少しでも延ばし、平均寿命に近づけたいものです。笠間市では健康寿命を少しでも延ばしてらおうと、さまざまな施策を実施。平成30年度には歩くことを習慣づけてらおうと、歩くポイントが貯まる健康ポイント事業を導入しました。

平成30年9月現在、全国の100歳以上の高齢者は6万9,785人(平成30年厚生労働省調べ)。前年比で2,014人増え、48年連続で過去最多を更新しています。この数字は20年前の実に6.9倍、10年前の1.9倍です。内訳は女性が圧倒的に多く6万1,454人で全体の88.1%、男性は11.9%で8,331人でした。最も

高齢者は福岡市の女性で15歳。男性は北海道の13歳だということです。茨城県の健康寿命を都道府県ランキング(2016年厚生労働省)で見ると、男性が80.28歳で34位、女性が86.33歳で45位でした。ちなみに笠間市の平均寿命(国保データベース29年度データ)は男性が78.80歳、女性は85.50歳でした。健康寿命は2000年にWHO(世界保健機関)が提唱。以来、寿命を延ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすに関心が高まっています。

健康寿命は介護を受けたり寝たきりになったりせず健康的で自立した生活ができていく期間をさします。茨城県の健康寿命と平均寿命の差は男女ともほぼ10年間、つまり日常生活に何らかの支障を抱えながら生きる期間が10年前後あるということです。

健康を保つ秘けつは無理のない適度な運動、それを実行するためのバランスのとれた食事、そして心のゆとりや生きがいなどの楽しみといわれています。

笠間市では健康寿命を延ばすためのさまざまな事業を実施。とくに平成30年度は健康を保つために必要な適度な運動を習慣づけてらおうと歩くポイントが貯まる健康ポイント事業をスタートさせました。これを機会に歩くことを習慣づけて少しでも長く健康的に生活しましょう。

健康を保つ秘けつは無理のない適度な運動、それを実行するためのバランスのとれた食事、そして心のゆとりや生きがいなどの楽しみといわれています。



スクエアステップ

楽しむは自分達で作ろう
「ふれあいサロン宛」
社協北川根支部女性部長 上野 昌子

昨年の3月に地区の皆様方のご支援を頂きスタートする事が出来ました。体操あり、唄あり、勉強会ありと、毎回賑やかに過し、一緒に昼食を食べながら、世間話に花を咲かせます。



夏祭り

友部地区

民生委員・児童委員担当地区一覧表

(氏名・電話番号・担当地域の順)

平成30年12月1日現在

★主に宍戸小学区

| | | | |
|----|-------|---------|----------------------|
| 1 | 小菅 栄子 | 77-3400 | 上町、中町、下町、星山 |
| 2 | 桑島 裕子 | 77-0222 | 橋爪、下加賀田、矢野下上郷 |
| 3 | 武田 富雄 | 77-2852 | 南小泉1・2・3 |
| 4 | 横倉 一男 | 77-3775 | 大古山、ひばりヶ丘団地、ペリオコリナ会区 |
| 5 | 幾浦 正道 | 78-0708 | 旧陣屋1・2、小人町 |
| 6 | 青野 民男 | 77-3282 | 旧陣屋3 |
| 7 | 仲野よし子 | 77-6982 | 大田町1 |
| 8 | 藤木喜代子 | 77-2671 | 大田町2、八反山 |
| 9 | 磯部佐智恵 | 77-7801 | 松山団地1・2 |
| 10 | 芥川 麗子 | 78-0615 | 松山団地3、県営松山アパート、松山南団地 |
| 11 | 岩田 幸雄 | 77-6285 | 八幡下、八幡台第2区 |

★主に友部小学区

| | | | |
|----|-------|---------|-------------------|
| 1 | 深谷 邦子 | 77-0002 | 原店1・2 |
| 2 | 深澤 洋子 | 77-2014 | 宿1・2、久保、古山 |
| 3 | 石坂 彰敏 | 77-1088 | 宮前1・2 |
| 4 | 内桶 正夫 | 77-6439 | 鴻巣1 |
| 5 | 皆川 勇 | 78-9060 | 鴻巣2、県営友部アパート、鴻巣団地 |
| 6 | 友部 庄一 | 77-0028 | 東町1・2、仲町 |
| 7 | 伊橋 理代 | 77-2473 | 東町3・4 |
| 8 | 坂本 直美 | 77-0104 | 西町1・2、南町 |
| 9 | 高野 康司 | 77-7107 | 桜町、栄町 |
| 10 | 多川英久雄 | 77-5651 | 幸町、大沢中1・2 |
| 11 | 長谷川悦子 | 77-2172 | 当の越1・2 |
| 12 | 荒張 晴夫 | 77-6809 | 緑町1・2・3 |
| 13 | 高田 眞弓 | 77-8207 | 大沢中3、美原団地 |
| 14 | 井坂フヂエ | 77-0572 | 青葉町 |
| 15 | 武藤 千秋 | 77-7943 | 柿橋西・中 |
| 16 | 海老澤淳子 | 77-9015 | 柿橋東・南 |
| 17 | 山中 福一 | 77-9680 | 柿橋北 |
| 18 | 中山 務 | 77-1882 | 柿橋団地、東ヶ丘区 |
| 19 | 川原井幸江 | 78-0323 | 西飯田 |
| 20 | 菱沼 征一 | 77-4070 | 内郷、西内郷、飯田1・2・3 |
| 21 | 生天目純子 | 77-8682 | 富士町 |

★主に友部第二小学区

| | | | |
|----|-------|---------|--------------------|
| 1 | 大和田 勉 | 77-5578 | 矢野下藤株・下郷、若狭山団地、清住町 |
| 2 | 園部 敏子 | 78-2517 | 八幡台第1区 |
| 3 | 鈴木 重雄 | 77-1007 | 大沢下1 |
| 4 | 菊池美智子 | 77-4460 | 大沢下2 |
| 5 | 寺門 常康 | 73-4113 | 旭台、アクシーズタワー |
| 6 | 阿部 幸雄 | 77-3789 | 旭崎1・2、原団地 |
| 7 | 田中 敬一 | 77-5587 | 大沢上1・2 |
| 8 | 成田 恵子 | 77-7962 | 大沢上3 |
| 9 | 吉田 正次 | 77-4865 | 旭台団地1・2・3・4 |
| 10 | 横 渉 | 77-1810 | 旭平1、サンステージ区 |
| 11 | 齋藤 清 | 77-1214 | 旭平2、旭平団地、緑ヶ丘団地 |

★主に北川根小学区

| | | | |
|---|--------|---------|--------------------------|
| 1 | 原田 敏子 | 77-2999 | 旭丘団地、住吉団地、みどり野団地 |
| 2 | 布施谷智恵美 | 77-2827 | 旭団地、西協、長野、RG風の杜、グリーンウッド |
| 3 | 守 久子 | 77-8829 | 睦団地、西原、西原住宅班、コンフォートタウン西原 |
| 4 | 打越 安洋 | 78-0159 | 石沢、長兎路全区 |
| 5 | 赤津 浅男 | 77-4973 | 住吉本宿、白百合区 |
| 6 | 赤津 博 | 77-5089 | 住吉新宿、湯崎、田向 |
| 7 | 鶴田 信晃 | 77-4306 | 随分附本郷・新田、東原 |
| 8 | 箱田 素子 | 77-4573 | 柏井、柏井団地、旭丘、仁古田全区、南丘団地 |

★主に大原小学区

| | | | |
|---|-------|---------|-----------------|
| 1 | 國谷 善巳 | 77-2831 | 下市原、中市原 |
| 2 | 中庭 幸枝 | 77-2863 | 上市原1・2 |
| 3 | 友部 順子 | 77-2794 | 滝川1・2 |
| 4 | 長谷川道夫 | 77-2519 | 香取、久保下寺、新宿、小原団地 |
| 5 | 富田 文訓 | 77-5223 | 館古宿、本内、原坪、筒塙 |

★主任児童委員

| | | | |
|---|-------|---------|--------|
| 1 | 栗股 克巳 | 77-2011 | 友部地区全域 |
| 2 | 山口 正俊 | 77-6060 | |
| 3 | 潮田 朱美 | 77-2758 | |

○委員についての問い合わせ先
社会福祉課
☎77-1101 (内線157)

○子育て支援について
子ども福祉課
☎77-1101

○子どもの心の発達や育児など
家庭児童相談室
☎0296-7015411 (直通)
(月)金午後1時から5時まで

○高齢者に関すること
高齢福祉課
☎77-1101

事務局から

ダイヤル
189

この番号をダイヤルすると最寄りの児童相談所につながります。児童虐待等、子どもに関する相談などにご利用ください。

児童相談所全国共通ダイヤル

ダイヤル
188

悪質商法等の被害相談に直接市町村の消費生活センターにつながります。「おかしいな」と思ったら、すぐに電話で相談しましょう。

消費者ホットライン

全国共通ダイヤルを
利用しましょう

5年目の夏

笠間クラインガルテン在住

山本 範子

笠間の街に、ねぶたのお囃子が響き渡る。月ラッセラッセラッセラッセラッ跳人(はねと)がお囃子に合わせて跳ね、私たちがヨサコイグループ『はなみずき』も元気に踊り出す♪今年もまた、熱い祭りの日がやってきた!

5年前、海外駐在から帰国した私たち夫婦は、これから老後をどのように暮らそうかと相談していましたが、九州育ちの主人は、自然の中で農業をしながら暮らしたいとの希望を持っていました。そんな時、クラインガルテンが笠間市にあることを知りました。笠間については、笠間焼や笠間稲荷しか知りませんでした。笠間へ来てみて、里山の風景に魅了され即日申し込むことになりました。

私は入居の条件である、地元との交流を模索していましたが、なかなか決められずにいました。そんな時、地元の方からヨサコイをやらなにかとお誘いをいただきました。踊りなど全く縁のなかった私ですが、第二の人生、新たなものに挑戦してみることになりました。こうして、クラインガルテンの50世帯の新しい仲間と、ヨサコイで知り合っ



撮影 中林 春男

市民の声 ほっとひといき

た地元の方たちとの交流が始まりました。

クラインガルテンでは、野菜作りのノウハウを先輩に教わり、地元の方からは、春は山菜採り、梅干し作り、夏にはブルーベリー摘み、秋には栗拾いや銀杏採り、冬には地元の農家でお餅つきや味噌作り。このように四季を肌で感じる生活は、地元の方との交流を通して充実していききました。

季節の変化を体で受け止め、自然を慈しみ、土地の食材をいただく。笠間に来て毎日の暮らしが丁寧になった気がします。また、5年住んでいて気づいたことがあります。それは、笠間のすばらしい里山の風景は、山林や田畑に寄り添って暮らす方々の弛みない営みによって維持されているということです。これからも地元の方々と共に、笠間の里山で自然に寄り添う暮らしを続けていきたいと思

- 〔俳句〕
- 五月晴れ小走り帰るランドセル
父と子のキヤッチ・ボールや花の下
遠足の子等に手を振る車椅子
笠間 青木 邦久
- ぶらんこが二つ二つの水たまり
白息を雲のごとくに連れ歩く
友部 鈴木 義雄
- 彩を群れて競いしツツジかな
常陸野も大雪降りて原野かな
そば立ちぬ雲湧き立ちて彼方かな
岩間 中林 春男
- 〔短歌〕
- 夫の遺影いつも吾を見つめている
足をふみはずさぬか悪いことせぬか
萩すき団子も供え月を待つ
陽だまり館に友とテーブルに
四ツ葉会の仲よしの二人天国へ
待っててわたしもゆっくり行くから
笠間 岡本 美恵子
- 陸橋を渡るSL待つらしき
老いたる二人そつと寄り添う
晩秋の道の駅でのツーショット
「SLもおか」と年寄り夫婦
友部 松岡 和枝
- 秋風の立ちそめし庭に何処よりか
銀木犀の香り流れ来
朝より暑き日差しの注げども
涼風を呼ぶ葎の音
物音のなき夜の更けをひとつづつ
夢を消すごとと眠りにつきぬ
岩間 深谷 充代

第37回 茨城県 民生委員 児童委員 大会

平成30年10月26日に大会が、県民文化センターで開催されました。式典では、主催者あいさつ、永年勤続民生委員・児童委員表彰が行われ、来賓祝辞で、受賞者に民生委員として日々の活動に感謝のことがありました。

全国社会福祉大会

平成30年11月22日に東京のメルパルクホールで大会が開催されました。式典では、民生委員・児童委員功労者「多年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の推進に貢献し、その功績が顕著である」として厚生労働大臣より表彰状並びに功労章のメダルを受けました。

受賞者 友部地区民児協 会長 原田 敏子

あとがき

災害の多かった平成もあと少しを残すのみとなりました。「ぬくもり」第13号をお届けいたします。地域により添い続ける民生委員・児童委員の活動をこの広報紙に掲載しましたので、一読していただければ幸いです。

広報委員会

| | |
|------|----------------------|
| 委員長 | 須藤 甲治 |
| 副委員長 | 赤津 博 |
| 委員 | 森 和以 |
| | 田中 恵子 |
| | 成田 恵子 |
| | 小松崎 晟 |
| | 柳原 優子 |
| | 飯村 正子 |
| | 幾浦 正道 |
| | 伊橋 理代 |
| | 鈴木 利通 |
| | 鬼澤 正 |
| | 生天目 純子 |
| | 鶴田 信晃 |
| | 鈴木 守正 |
| | 海老沢 照子 |
| | 竹江 邦夫 |
| | 横堀 松壽 |
| | 茨城県民生委員 児童委員協議会 会長表彰 |
| | 菱沼 征一 |
| | 吉田 正次 |
| | 全国永年勤続 民生委員児童 委員表彰 |